

## 浜の川湧水

湧水は島原の町全体にふんだんにあるが、浜の川湧水のように日々の生活に溶け込んでいるものは今ではほとんどない。

数百年前、この場所は水底にあった。1792年に破壊的な強い地震により眉山(819メートル)の多大な部分が崩壊し、海へとなだれこみ、海岸線が広がった。その後、新しくできた土地から過去に水没した泉が湧き出した。

浜の川湧水の水は純度が高い。海に近いが、火山の地面のヒビから湧き出たり、山から流れる雨水が流れ込んだりと源泉が異なる。湧水が発見されて以来、地元民たちは災害により生まれた恵みを完全活用している。湧水には水の鮮度を保つための厳しい規則がある。湧水は4つの区画に分けられている。1番目の1番高い位置にあるのは食物洗い用、2番目は食器と食物すすぎ用、3番目は食器と食物洗い用、4番目は洗濯用である。飲みたい場合は公共のコップを使って最初の水溜めに入る前にすくうとよい。

浜の川の水は1985年に環境省選定の日本の「名水百選」に選ばれたことで非常に有名である。また、地元の名産品、「かんざらし」という団子の材料でもある。